

## 大学教育推進プログラム【テーマA】 高齢者施設での福祉・看護・栄養の統合教育

### 経過報告(2) 1年次体験実習のパイロット的实施

次年度からの高齢者複合施設での実習開始に向けて、1年次体験実習を少人数でパイロット的に実施しました。

【日時】2009年12月23日～24日（一泊二日）

【学生】1年生3名（3学科から1名ずつ）×2グループ

\*1名は新型インフルエンザのため実習は不参加。

【教員】荒木（福祉）、一ノ瀬（福祉）、久保（栄養）、坂巻（栄養）、飯野（看護）、吉原（看護）、浅野（看護）、杉原（施設）、小田（施設）、木村（施設）

実習終了後のカンファレンスでは、学生から「3学科の学生で分らないことをお互いに補うことができた」「学生同士で相談できて良かった」「福祉現場のスタッフの大変さがよく分った」「夜間の入所者やスタッフの様子をみることで勉強になった」「ひとりひとり食形態が違うことが分った」「嚥下困難の入所者に対する対応を実際にみることで理解できた」などの感想が寄せられました。

今回のパイロット的实施の結果を踏まえて、プログラム推進メンバーで実習内容を見直し、次年度からの本格的な実施に反映させる予定です。



実習後の学生と教員の討論

文責：浅野嘉延（プログラム推進責任者、看護学科教授）